

団体名		株式会社エフエムむさしの						
①	指 標 名	出演ゲスト数			目 標 値	600人	実 績 値	612人
		過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	102.0%	達 成 状 況
	(単位: 人)		571	604	611			
	取 組 内 容	<p>※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>番組へのゲスト出演については、平日夕方の生放送では「本日のお客様」コーナーで基本的に毎回行った。また、木・金曜日は「信州耳より情報」で、土曜日は「MUSIC FLOW」で毎回複数、日曜日はライブハウスからの紹介など、様々な方々の出演を実現できた。</p>						
一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>ゲストが出演する対話スタイルの番組を多く制作し、目標を達成できた。ゲストのSNS等での発信によるPR効果も狙いとしており、発信力があり、フォロワー数が多いゲストを招くことで大きな効果が期待できる。今後は現状を維持しながら、さらに効果的な広報活動を企画する。</p>							
二 次 評 価	<p>番組の魅力や認知度の向上のため、多彩なゲストの出演は効果的と考えられる。引き続き、リスナーや地域のニーズを踏まえた質の高い番組作りを進められたい。</p>							
②	指 標 名	新規出稿			目 標 値	3,000千円	実 績 値	3,149千円
		過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	105.0%	達 成 状 況
	(単位: 千円)		3,509	3,473	3,779			
	取 組 内 容	<p>※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>(1) 契約中のスポンサーに対して、新番組の提案をしたが金額面で折り合わなかった。                  (2) 商工会議所サービス部会合などで、他業種の方々に弊社の紹介、制作料などを説明した。                  (3) HAPPY VOICEなどの新商品について観光機構と連携した受付体制を設けたが、申し込みはまだない。今後は値下げも検討する。                  (4) 新番組「子どもおやすみラジオ」は、チラシを作成し、市内小学校1～3年生、幼稚園、保育園に9,000枚弱を配布した。結果的に局内で最も聞かれている番組になった。今後「GOOGLE アナリティクス」の数字を上げて大会社へ売り込むことも検討している。</p>						
一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>主たる広告媒体は、歴史的にラジオからテレビ、インターネットと変容しているため、ラジオ会社の経営も従来の手法では行き詰まると想定される。しかし、人気を集めている「子どもおやすみラジオ」のように、音声だけのラジオの特性を活かした企画であれば、現在でもニーズを捉えられることが確認できた。今後もラジオの特性を活かせるニーズを探りながら番組を制作し、広告を増やしていく。</p>							
二 次 評 価	<p>リスナー分析の結果などを活用しながら、積極的な営業活動や魅力ある番組制作に取り組み、一層の収入増に努められたい。</p>							
③	指 標 名	外注費の削減（抑制）			目 標 値	8,900千円	実 績 値	14,045千円
		過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	63.4%	達 成 状 況
	(単位: 千円)		7,224	7,046	10,435			
	取 組 内 容	<p>※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>平成30年度は社員2名にパーソナリティーとしての役割を持たせることで、約45万円の外注費を削減した。しかし、従来は外注費として仕訳していなかった放送支払手数料（平成29年度では4,997,684円）について、本来の会計処理として外注費で仕訳することとした結果、実績値は前年度を大きく超過することとなった。この仕訳変更の影響を除けば、達成率は98.9%となる。</p>						
一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>最低賃金の上昇などにより、人手不足の傾向が顕著に表れており、ミキサー2名退職後の後任確保が難航している。今後はパーソナリティーとの契約交渉も難しくなっていく可能性がある。持続可能な運営体制の維持を考えながら、できる限りの外注費削減の努力を行っている。</p>							
二 次 評 価	<p>難しい環境の中で経費抑制の努力を行っているものと理解する。引き続き財務改善に努められたい。</p>							